

国内の抗 AQP4 抗体陽性 NMOSD の小児例に関する研究

1. 研究の対象

抗 AQP4 抗体陽性視神経脊髄炎スペクトラム障害の患者さんで、2024 年 7 月 30 日以前に診断された 15 歳未満の方

2. 研究目的・方法・研究期間

研究目的・方法：

視神経脊髄炎スペクトラム障害は、多くは抗 AQP4 抗体が陽性となる、視神経炎と脊髄炎を中核とする自己免疫疾患です。小児の有病率は 0.06~0.22 人/10 万人程度と少なく、症状や治療経過について、国内でのまとまった報告がありません。抗 AQP4 抗体陽性視神経脊髄炎スペクトラム障害の小児例を調査し、後方視的に小児例の臨床像や臨床経過をまとめることで、将来の患者さんの治療に役立てることを目的とします。

研究期間： 研究実施許可日～西暦 2029 年 7 月 31 日

3. 研究に用いる試料・情報の種類

診断名、年齢、性別、身体所見、検査結果（血液検査、髄液検査、画像検査）、治療、治療経過、予後等の臨床情報を抽出し、匿名化した状態で共有します。

4. 外部への試料・情報の提供

共同機関である安城更生病院小児科へ電子カルテから抽出した上記臨床情報を、匿名化した状態で電子メールにて、提供し共有します。

この研究は、多施設との共同研究で行われます。研究で得られた情報は、共同研究機関内で利用されます。（代表機関の情報管理責任者 安城更生病院 院長）

5. 研究組織

別紙 1 研究参加機関一覧を参照ください。

6. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい

研究責任者：神経内科診療科医長 糸見和也
研究代表者：安城更生病院 小児科 代表部長 久保田哲夫